

## 流行状況

### A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

\* レンサ球菌のうち血清型分類の A 群に分類されるものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は 0.66 ( 前週 0.42 ) と増加

過去 3 年間の推移を見ると、**第 40 週前後から急増**する傾向があるため**注意が必要**

### 水痘 ( みずぼうそう )

定点当たりの報告数は 0.75 ( 前週 0.47 ) と増加

### 手足口病

\* 夏かぜの一つ。ウイルスの飛沫、経口、水疱からの感染  
口の中、手や足の先の水疱性発疹

定点当たりの報告数は 0.59 ( 前週 0.55 ) と同程度に推移

4 定点からコメントでの患者発生報告あり。

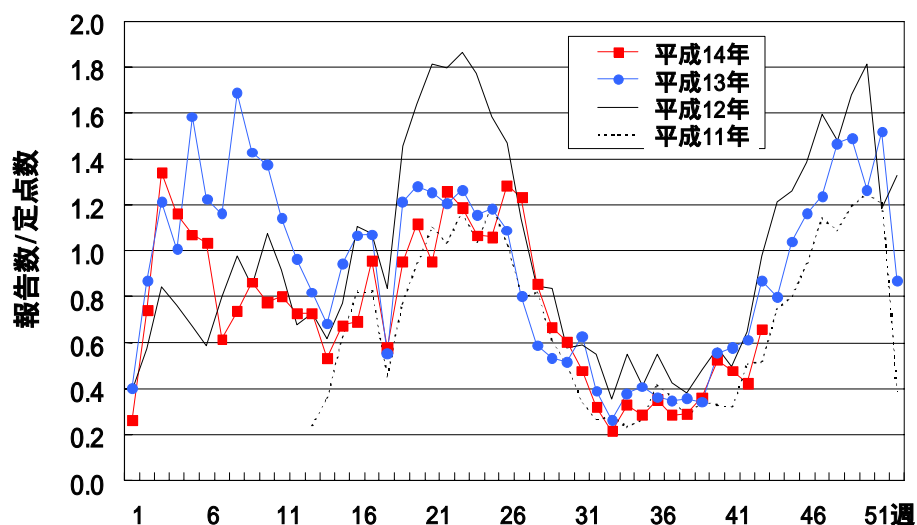
### マイコプラズマ肺炎

\* マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎

基幹定点から 2 例の患者報告あり。

4 定点からコメントでの患者発生報告あり。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症についての説明及びグラフ総覧については、  
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

( <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/> )

## 定点の先生方からのコメント

### 尾張西部地区

病原性大腸菌 O8 3 歳男

病原性大腸菌 O18 51 歳女

病原性大腸菌 O25 16 歳女

カンピロバクター 2 歳女

EB ウイルス 33 歳男

(尾西市 城後小児科)

3 歳女、4 歳女 マイコプラズマ肺炎

(一宮市 後藤小児科医院)

4 歳女 ムンプス (ワクチン済み)

4 歳女 マイコプラズマ肺炎

6 ヶ月男 MCL S (川崎病) 疑い

(一宮市 あさのこどもクリニック)

カンピロバクター 8 歳男

(犬山市 武内医院)

特に流行はありませんが、喘息の発作が目立ちます。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

水痘、手足口病がまだ流行しています。

(稲沢市 医療法人野村整形外科)

急性肺炎の入院例が目立ちます。

(春日町 丹羽医院)

手足口病 23 歳女

流行性耳下腺炎 29 歳女

(師勝町 医療法人師勝クリニック)

### 尾張東部地区

カンピロバクター腸炎 13 歳男

特別な感染症はみられません。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

ヘルパンギーナ 3 例 (姉妹例でした)

3 歳女 カンピロバクター、病原性大腸炎 O6 同時検出

1 歳女 病原性大腸菌 O8

マイコプラズマ肺炎、相変わらず成人、小児共に認めます。

---

その他、水痘、流行性耳下腺炎散発

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

手足口病が少々みられるのみでした。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

感染症少ない。

(小牧市 小牧市民病院)

伝染性紅斑の1例は7ヵ月女です。

(小牧市 志水こどもクリニック)

---

### 西三河地区

---

病原大腸菌 O1 2歳男

サルモネラ O7 3歳男

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

単純ヘルペス

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

3歳女 病原性大腸菌 O6

(岡崎市 花田こどもクリニック)

1歳男 病原性大腸菌 O6 VT (-)

2歳男 病原性大腸菌 O1 VT (-)

14歳女 カンピロバクター、病原性大腸菌 O1 VT (-)

(岡崎市 にいのみ小児科)

1歳女 病原性大腸菌 O1

7歳男 病原性大腸菌 O1、カンピロバクター

8歳女 カンピロバクター

(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)

9歳男 カンピロバクター

4歳女 カンピロバクター

(幸田町 とみた小児科)

溶連菌感染、伝染性紅斑 時々あり。

(碧南市 永井小児クリニック)

---

### 東三河地区

---

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が流行中です。

(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

近くの保育園で手足口病流行中。イムノカード(マイコプラズマ抗体)陽

---

性の幼児（４～５歳）が散見されました。

（豊橋市 あずまだこどもクリニック）

## 1～3類感染症の発生状況

### 腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	一宮	3	男	10/20	10/24	10/25	O 157 VT1(-) VT2(+)	症状あり
2	衣浦東部	34	男	10/19	10/19	10/21	O 157 VT(+)	症状あり 感染経路不明
3	衣浦東部	31	女	10/22	10/23	10/26	O 157 VT(+)	症状あり 感染経路不明
4	師勝	61	男	10/10	10/11	10/21	O 157 VT2(+)	症状あり 感染経路不明

## 全数把握の4類感染症の発生状況

ウイルス性肝炎（A型） 1例 42週の再掲

アメーバ赤痢 1例

## 第41週(14年10月7日～10月13日)の4類感染症の全国状況

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期に比べるとかなり多く、都道府県別では宮崎県(12.6)、大分県(10.9)が非常に多い。水痘も例年通り冬期の増加が始まり、過去5年間の同時期に比べるとやや多くなった。都道府県別では、福井県(2.1)が最も多かった。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいないが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とマイコプラズマ肺炎は、再びゆっくりと増加を始めている。都道府県別では、前者が愛媛県(1.4)、長野県(1.2)からの報告数が多く、後者は新潟県(1.5)が多い。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、全体としては減少傾向が続いている。無菌性髄膜炎は全体としては減少しているが、青森県(2.0)からの報告が非常に多い。流行性角結膜炎は全体としては減少を続けているが、群馬県(6.4)、宮崎県(6.3)からの報告数が多い。伝染性紅斑、手足口病、ヘルパンギーナ、麻疹(成人麻疹を除く)も例年通り順調に減少を続けている。都道府県別では、福島県(0.5)が他県(すべて0.1以下)に比べて麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数が多い。インフルエンザは冬の流行シーズンを控え増加を始めた県(山梨県、鹿児島県)も見られるが、現在のところ全国での定点当たり報告数(0.01)は非常に少ない。風疹も近年の同時期で最も定点当たり報告数が少ない状態が続いている。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供 )

詳細は感染症情報センター - のホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html> ) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

思いがけなく早い季節の到来で出勤の早い日は震えあがっています。ポケットに手を入れたりしないで胸をはって歩こうといつも思うのですが。ところで、いつも貴重な情報を有難うございます。10月前半 - 後半のまとめをお送りします。

1. 名古屋地区：名鉄病院宮津先生からはムンプスとマイコプラズマ肺炎が増加中で髄膜炎合併例はさほど多くない。EBウイルスも少し増加、インフルエンザワクチンで忙しくなりそう、城北病院渡辺先生からは感冒が引金の喘息発作増加、食中毒様患者散見、第二日赤岩佐先生からは外来では気管支喘息が多く入院では無菌性髄膜炎2名、千種区今枝先生からは感冒（38台の熱と咳が多い）がぼつぼつ、中京病院柴田先生からは特になし、労災病院山田先生からは溶連菌感染症とマイコプラズマ感染症が多く百日咳、ヘルペス口内炎、RSウイルスが多くクル-プ（3ヵ月未満にも多い）目立つ、大同病院水野先生からは気管支炎・肺炎症状を呈する乳幼児が多く腹痛・下痢のウイルス性腸炎、高熱4-5日で白血球減少を呈する例あり、喘息様気管支炎で重症、呼吸不全で要入院例が多い、などのお手紙をいただきました。
2. 尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎と手足口病が散発中、江南市昭和病院西村先生からはカンピロバクタ-腸炎時々、RSウイルス感染症、川崎病、クル-プ、ブ菌性火傷様皮膚症候群あり、常滑市民病院上田先生からはムンプス、感冒、溶連菌、ウイルス性胃腸炎、アデノウイルス性腸炎、仮性クル-プが目立つとのお手紙でした。
3. 三河地区：加茂病院梶田先生からは肺炎（一部はマイコプラズマ肺炎）増加、喘息がらみの入院が多い、岡崎市民病院瀧本先生からは特に目立った感染症はない、安城更生病院小川先生からは喘息が多く、百日咳2名、腸管出血性大腸菌感染症2名入院、刈谷市田和先生からはカンピロバクタ-腸炎散発中、豊橋市宮澤先生からは毛細気管支炎、喘息性気管支炎、喘息発作などが目立つとのお手紙をいただきました。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部 (文責 磯村)

2002年9月13日号(77巻37号)

ワクチン：6月13-14日、ワクチン作戦専門家グループの本年度会議のまとめ。ワクチン研究・改良：添加物の改良、アジア地区における Hib ワクチン（インフルエンザ桿菌ワクチン。乳児期の細菌性髄膜炎の最大原因。欧米では実用化が進み D P T と混合接種されている）、B 型肝炎ワクチン導入と普及、流行地における髄膜炎菌ワクチンの普及。ワクチンの安全性で接種の重要順位を考える委員会発足。定期接種の強化。ポリオ担当グループから野生株ポリオ根絶後のワクチンについて生ワクチンで接種をすすめるか不活化ワクチンを導入するか検討が必要とコメント。新生児破傷風対策、妊婦を対象とした破傷風トキソイド接種の普及。黄熱が最近 20 年間増加中。5 年毎に調査を継続、同時に副作用調査を実施。麻疹：03 年まで過去にさかのぼって流行情況、死亡例調査を実施、噴霧ワクチンの開発。ワクチン供給作戦。

世界のポリオ：急性弛緩性麻痺の届出状況一覧表。現在多発地区はナイジェリア、アフガニスタン、パキスタン、インドとなっている。

インフルエンザ（02年8月）。アルゼンチン：B 型。小児に多発。ブラジル：A 型と B 型。小児に入院例が多い。香港：A（H3N2）型の散発。

2002年9月20日号(77巻38号)

髄膜炎菌髄膜炎：東アフリカ大湖地帯（ブルンジ、ルワンダ、タンザニア）。

ブルンジ：流行が続き9月2日毎週50例発症。WHOとユニセフは約75万人分のワクチンを準備し、国境なき医師団が接種をすすめている。ルワンダ：9月2日までに636名発病（死亡83例）。WHO、ユニセフ、国境なき医師団は200万人分のワクチンを準備し、接種を開始した。タンザニア：9月になって流行。北部のブルンジ難民キャンプで発生。国連高等弁務官が中心で調査開始。

西ナイル熱：カナダ。確定3例、疑似14例、死亡1例。オンタリオ州。

ポリオ：バングラディッシュ、インド、ネパール。88年、ポリオ根絶計画が始まってから世界のポリオ（急性弛緩性麻痺）の届出数は99%以上減少したが、南東アジア地区ではいまだに野生株ポリオが常在している。本報はこれら3国の01年1月から02年6月の状況のまとめである。定期接種率：1才以下3回接種完了率はバングラ66%、インド70%、ネパール9

2%。追加強化接種：5才以下を対象に年2 - 4回定期外に地域単位で接種。バングラ：地区居住小児の15%。インド：ウタル・プラデス、ビハールなど多発地区で3千万単位で絨毯爆撃的接種。ネパール：インド国境を重点に300万単位で接種。発生状況：地図あり。インド北部とバングラ西部に集中。野生株は1型と3型。報告例の80 - 83%から信頼出来るウイルス材料が収集され、01年で野生株がインドで268例、02年前半で159例確認されている。

インフルエンザ：本年9月。ブラジル：B型。小児に多発。ウルグアイ：A型とB型 9月13日 - 19日届出。コレラ。ガナ、ニジェール、米合衆国、日本（輸入例）







愛知県感染症情報

2002年第1週～第43週(平成13年12月31日～平成14年10月27日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	35,716	527	5,736	27,855	10,169	6,323	2,021	5,572	78	114	6,711	2,151	7,216	25	880	4	13	97	92	1	22
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	28,083	356	4,022	18,643	7,733	4,236	1,566	4,274	57	77	5,648	1,704	5,902	15	632	4	13	97	92	1	22
名古屋	名古屋	70	70	11	14	1	7,633	171	1,714	9,212	2,436	2,087	455	1,298	21	37	1,063	447	1,314	10	248					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,301	43	590	1,349	500	492	58	247	2	7	205	80	453	3	37	1	34			
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,229	16	79	1,205	440	210	112	169	1	7	378	80	292	1	31	2		4		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		794	2	25	1,431	120	118	22	85		6	133	29	28	2	24					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,096	49	411	2,779	803	415	90	500	3	3	383	254	375	1	55	1	2	48	2	
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,955	20	446	890	855	516	156	375	5	7	345	136	299		40		2	1	3	6
	江南	6	6	1	2		1,780	56	379	1,677	523	248	103	139	1	5	408	67	289		32					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,319	32	111	582	304	150	236	187	3	4	129	135	311		15	3	1		1	12
	知多	7	7	2	2		2,383	36	135	1,069	531	464	109	298	6	8	498	227	273		31					
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,984	20	402	216	915	391	202	633	15	3	595	79	815	1	136					
	衣浦東部	11	11	2	4	1	3,475	10	367	1,135	818	226	144	427	6	9	594	212	341	2	25	1	1	2		
	西尾	4	4	1	1	1	281	5	65	512	237	44	16	102		6	253	24	128	1	55	1	11	2	3	
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,416	19	171	1,045	492	289	73	268	13	9	341	154	710		56		2	32		
	加茂	3	3		1		366	2	28	364	102	85	20	94			52	44	265							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	3,013	19	554	2,373	569	278	119	418		1	629	76	731	2	91		3	36		
	豊川	9	8	1	2	1	2,557	27	256	2,015	470	272	102	320	2	1	672	99	495	2	4			10	1	1
東三河北部	新城	2	2			1	134		3	1	54	38	4	12		1	33	8	97							

